

流域対策の検討状況について 【学校・公園に係る概略設計】

検討の趣旨

学校・公園での流域対策に係る施設整備を具体化していくことを目的として、関係機関との協議に必要な基礎資料を得るため、流域内の実施地(4箇所)での現地調査を基に、下記についての概略検討を行った。

- ・貯留施設の標準的な施設計画
- ・工事内容と規模(数量・工事費)
- ・概略設計箇所の貯留容量と概算工事費の関係等を勘案した全対象施設についての全体概算工事費

(1) 現地調査箇所

区分	箇所数	備考
学校	3箇所	A校、B校、C校
公園	1箇所	D公園

(2) 集水範囲と貯留範囲の設定

施設	集水範囲	貯留範囲	摘要
A校、B校、C校	敷地全体	校庭	図-1
D公園		広場	

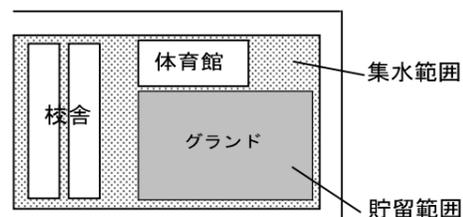


図-1 集水範囲と貯留範囲

(3) 貯留容量の確保方法

施設	方式	摘要
A校、B校、D公園	築堤	図-2
C校	掘削	図-3

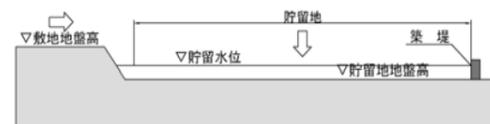


図-2 貯留容量の確保(築堤)

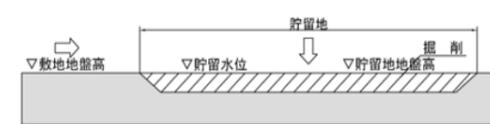


図-3 貯留容量の確保(掘削)

(4) 貯留水深の設定

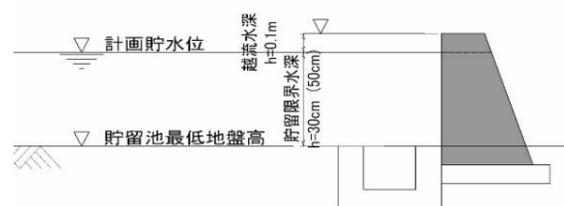


図-4 貯留水深の設定

(5) 築堤の構造

施設	構造	摘要
A校	土堤と重力式擁壁の併用	図-5
B校、C校	重力式擁壁	図-5

(注1) 土堤と重力式擁壁の選定は、設置箇所の既設構造物への影響等を考慮した経済性により選定
(注2) D公園は築堤施設が不要



図-5 築堤の構造

(6) まとめ

【現地調査箇所】

施設	集水面積(m ²)	貯留面積(m ²)	貯留容量(m ³)	平均水深(cm)	概算工事費	備考
A校	40,700	11,500	1,900	16	2,200万円	築堤
B校	17,600	6,800	900	13	1,600万円	築堤
C校	18,500	8,200	1,900	23	3,400万円	掘削
D公園	2,600	700	200	23	200万円	築堤

【学校・公園全体】

施設	箇所数	概算工事費
学校・公園	190箇所	49億円